

外国語活動 学習指導案

枚方市立樟葉北小学校

授業者 田中 宏和

JTE 千原 若菜

1. 日 時 平成25年10月30日(水) 5校時 13:45~14:30
2. 学年・組 第5学年1組 (男子 17名、女子 26名 計43名)
3. 場 所 English room
4. 単 元 名 Hi, friends! 1 Lesson 8 What do you study?
5. 単元の目標

- ・時間割について積極的にたずねたり答えたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・時間割についての表現やたずね方に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・世界の小学校の学校生活に興味を持つ。(言語や文化に関する気づき)

6. 単元について(教材観・指導観)

本学級の児童は男女ともに仲が良く、様々な場面でお互いに協力し合う姿勢が見られる。元気もあり、他の授業においても積極的に発表しようとする児童も多い。しかしながら、自信のないものには消極的になり、また「間違っていたら」という恥ずかしさも後押しし、なかなか手が挙がらない児童も見受けられる。4月から始まった外国語活動では、間違っても気にせず、外国語に「慣れ親しむ」ことに力を入れてきた。

児童はこれまでの外国語活動を通して、英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しんできたとともに、世界のあいさつや数の数え方など、日本と世界との様々な習慣や文化の違いに興味や関心を広げてきた。本単元では、さらに世界への興味や関心を広げるために、身近な話題として世界の小学校で学習されている教科を取り上げる。教科の言い方に慣れ、時間割を活用しながら活動を進めるが、本単元では児童一人ひとりの学習負担を考慮して、教科名と曜日を中心に扱うこととする。本単元の最後には、一人一人が作った時間割を発表させようと考えている。発表については、時間割の曜日を尋ね、児童が考えた夢の時間割を発表する。教科名を英語で言うだけでなく、英語表現特有の言い回しのリズムなどに親しませながら、なぜそのような時間割を作ったのか簡単に説明させ、理由を述べたり根拠を示すことの大切さにも気付かせたい。

7. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (関)	外国語への慣れ親しみ(慣)	言語や文化に関する気付き(気)
時間割について積極的に尋ねたり答えたりしている。	時間割についての表現や尋ね方の表現を聞いたり言ったりしている。	日本と世界の小学校の学校生活の共通点や相違点に気付いている。

8. 単元の指導計画 は、本時(4/4)

	ねらい	主な学習活動 (●は評価する学習活動)	評価規準			評価方法
			関	慣	気	
1	曜日や教科などの言い方を知る。	○歌“Days of the week” ●「カルタゲーム」or「スリーヒントクイズ」 教科を説明する音声を聞いて、どのカードの説明かを答える。	●	●		【行動観察】 ゲームを通して、教科などの言い方に興味を持って活動して

		<ul style="list-style-type: none"> ●「ビンゴゲーム」Hi, friends!の後ろのカードを切り取りビンゴゲームをする。 ○振り返り 		●	いる様子を観察。
2	曜日や教科などの言い方に慣れ親しむとともに、外国の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ○歌“Days of the week” ●「キーワードゲーム」 曜日や教科の言い方にゲームを通して慣れ親しみ、積極的に参加する。 ●PPT で外国の授業の様子や教科書を見ながらどの教科かを考える。 ○振り返り 		● ●	【行動観察】 JTE の発音をよく聞いて、その教科や言い方を練習しゲームに参加する様子を観察。
3	チャッツなどで時間割について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○歌“Days of the week” ●Let's Chant ●時間割当てクイズをする。 ●外国の時間割を知りちがいに気づく。 ○振り返り 		●	【行動観察】 チャッツを通して、自分が何を勉強するか簡単な表現で伝えようとしている様子を観察。 ワークシート
4	Special 時間割クイズをし、友達の新しい一面に気づき、発表したり答えたりできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○歌“Days of the week” ●“Let's play ‘Who am I?’ game!” ○振り返り 		● ●	【行動観察】 “I study ... on Monday.”などの表現を使って友達と交流している様子を観察。 ワークシート

9. 本時について

(1) 目標

・自分の作った夢の時間割についての表現やたずね方に慣れ親しむとともに、友達の時間割を聞くことによる新しい一面に気付く。

(2) 指導計画

児童の活動	教員の支援		指導の留意点 準備物
	H R T	J T E	

導入	1. Greeting (あいさつ)	<ul style="list-style-type: none"> ●授業開始の指示をする。 Let's start our English class. Hello, everyone. How is the weather now? What's the date today? What day is it, today? 	Hello, everyone.	○掲示物（曜日カード）
導入	2. Warm up （歌） ♪"曜日の歌"を歌う Review (Chants) 曜日の言い方や教科の言い方を確認する。	Let's sing "Days of the week" "What do you study on Wednesday?" "I study ... on Wednesday."	○CD ○掲示物（曜日カード） ○掲示物（教科カード）	
展開	3. Activity ① 1班～7班のグループで、自分達の作った夢の時間割を発表し合う。 4. Activity ② ('Who am I?' game) 各班で素敵な時間割を作った人の時間割をクイズにして紹介する。 5. Activity ③ (Yutaka time) ○×クイズ	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容を知らせる "Let's show your special schedule." <u>Demonstration</u> JTE: Hello. HRT: Hello. JTE: I study English, Music, Japanese, Volleyball and Science on Monday. 理由を日本語で伝える。 JTE: Thank you. HRT: Thank you. ●全員で各グループの夢の時間割を聞き、考案者の新しい一面に気付く。 ●発表前に全員で What do you study on Monday? を言う。 ●児童の体験から、日本とアメリカの違いに気づく。(クイズ) 	○時間割シートを張る。 ○気持ちのよいコミュニケーションのために、“Hello.” や “Thank you.”などの言葉を大切に使うことを伝える。 ○児童全員に、聞き手としてグループの発表(時間割)に耳を傾けさせ、誰の時間割かを考えさせる。 ○クラスメートのクイズからアメリカでの学校生活の新たな一面を知る。(異文化理解)	
まとめ	6. ふりかえり ワークシートに振り返りを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ●今日の学習内容の振り返りをする。 		○ふりかえりシート
	7. Greeting (あいさつ)	<ul style="list-style-type: none"> ●授業終了の指示をする。 That's all for today. Did you enjoy? Thank you! See you! 	Goodbye, everyone. See you!	

(板書計画)

Dream Schedule

What do you study on Monday?

I study _____, _____, _____, _____, _____ and _____ on Monday.

教科カード